



3 年学年だより

発行日：令和8年7月17日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 4



MINAMI

おもいを言葉にして 伝える

校長代理 海部 祐喜子

いよいよ夏休みを迎えます。1学期はあっという間でしたか？

夏の日差しが日に日に強まる中、生徒の皆さんが仲間と支え合いながら学び、活動する姿に、私は1学期の皆さんの確かな成長を感じています。

授業や部活動、委員会活動など、さまざまな場面で皆さんの頑張りが見られました。中でも印象的だったのは、仲間を支えたり、誰かのために行動したりする姿です。その優しさや思いやりにうれしさを感じる一方で、その気持ちが言葉としてもっと伝わると素敵だな、とも感じました。

皆さんは、家族や友達など身近な人に「ありがとう」と伝えていますか。「言わなくても分かる」と思うかもしれませんが、皆さんの「おもい」を言葉にして、しっかりと伝えてみませんか。

「ありがとう」「助かったよ」「それ、いいね」たった一言でも、人の心を温かくします。

また、「すごいね」だけでなく、「最後まであきらめなかったところがすごいね」など具体的に伝えることで、相手は「見てもらえている」と感じるができます。言葉には、人を元気づけ、人とのつながりを深める力があります。（これは、もちろん大人から子どもに対しても、大人同士でも同じだと思います。）

本校では、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指しています。そのためには、私は相手を思いやる心と、その思いを行動や言葉で伝える力も大切だと思います。

その第一歩は、皆さんの身近なところにあります。自分から挨拶をする、お皿を洗ったり洗濯をたたんだり、そして「いつもありがとう」と伝える。そんな小さな行動が、周りの人との信頼につながります。

夏休みは、家族や地域の方々と過ごす時間が増える時期です。ぜひ身近な人への感謝や思いやりを言葉にして伝えてみてください。その小さな一歩が、皆さんをさらに成長させてくれるはずです。

夏休みにしかできないことをしよう

副校長 本江 聡美

明日から夏休みですね。1年の中でこれだけ長い期間学校が休みになるのは夏休みだけ。みなさんは、この長い休みをどのように過ごしますか。普段の学校生活ではなかなかできないことに挑戦し、自分の世界を広げる機会としてもらいたいと思います。

例えば、「好きなことを見つける」ために、今までやったことのないことに挑戦してみてもいいでしょう。今まで読んだことのないジャンルの小説や超大作の小説を読んでみる、自転車で少し遠くまで出かけてみる、料理に挑戦する、星空を観察するなど、きっかけは何でもかまいません。思いがけず「これが好きだ」「もっとやってみたい」と思えることに出会えるかもしれません。また、夏休みは「学びたいことを学ぶ」時間でもあります。昆虫が好きな人は図鑑を片手に野外観察をしたり、歴史に興味がある人は博物館や史跡を訪ねたりするのもいいでしょう。英語の動画を見たり、プログラミングや楽器の練習に挑戦したりするのも立派な学びです。誰かに言われてする勉強ではなく、自分の「知りたい」という気持ちから始まる学びは、きっと心に残ります。

時間がたっぷりある夏休みだからこそできることがあります。この夏は、自分の好きなことや学びたいことを見つけるための一歩を踏み出し、充実した毎日を過ごしましょう。将来の夢や目標につながる発見が、きっと待っています。

本校の夏休みには英語集中研修があり、1年生は選択 EGG があります。1学期に学んだことや、行事を通して高めた仲間との協力の姿勢を大切に、夏休みの研修等にも楽しく参加してほしいと思います。

休み中には様々な計画があるかと思いますが、熱中症や水の事故に十分に気をつけて、健康に過ごしてください。8月27日（木）の2学期の始業式で、元気な姿を見せてくれることを願っています。